

# 森 りょうじ

森  
が  
動  
く。



流山市議会議員

討議資料

インターネットを利用した選挙活動が法律的に認められてから4年が経過しました。当時、議論の時間を多く費やした結果、日本は先進国と比較しても選挙のネット解禁が約10年遅れたと言われました。ただその後を見ても投票率への影響は極めて限定的。今後の動向が気になるところです。

## 平成29年11・12月号(駅頭) 森りょうじ リポート。(88号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

### ■衆議院選挙を総括(地方議員の視点から)

10月22日(日)に投票が行われた衆議院選挙。選挙直前や期間中は選挙の意義や政党間の離合集散が話題となりました。選挙結果に関しては様々なお考えがあることと思いますが、地方議員の立場である私の視点からしますと『地方自治の展望』に関しては、もう少し積極的な議論があっても良かったように思います。

平成13年から始まった『地方分権改革』、また平成26年に研究機関が発表した“30年後には896市町村が消滅”するとの課題に対応する『地方創生政策』が中途半端にならないようにするためには、政府の姿勢が問われてきます。人口減少、地域経済の縮小、都市一極集中化など地方自治体の現場は問題が山積みです。国民の負託を受けた巨大与党の今後の動向に注目していきます。

### ■北京の蝶々～ママの声が、世を動かす～

有名な例え話“北京で一羽の蝶々がはばたくと、ニューヨークでハリケーンが生じる”…前号で『子ども達の登下校時の荷物の重量化』を特集しましたが、その後この問題を議会で取り上げた先進事例として、その様子が民放番組(TBS)で放映されました。ママ達の声が、日本全国の子ども達を救う可能性が出始めています!

### ■案内①:平成29年第4回定例会のご案内

会期日程は11/30-12/20の予定です。なお市議会でも直接傍聴をいただくことが出来ますし、インターネット中継(録画もあり)でご覧頂くこともできます。

### ■案内②:次回の駅頭は1・2月になります!

○1976年6月12日流山生まれ(41歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ  
流山市立新川小、流山市立北部中卒業  
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

○後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

## 森が動く①

【皆さんの声を届けるチャンス!】

第3回定例会（8月31日～10月2日）では平成28年度の決算審査（576億円）を行いました。前年度に引き続き黒字決算と言うことで、私は「認定」の立場を取りました。ただ認定にあたっては指摘や要望点もありましたので、その点も踏まえて、新年度予算編成に臨んでいきます。

### 予算編成に係る総括的事項

◎予算規模が拡大していることを踏まえ、財政調整積立金（貯金。以下財調）の積立基準額を再考されたい→流山市の財調は45億円を目安にしています。一方で流山市の予算規模は530億円。貯金目安は1割程度でも良いと考えます。

### 都市基盤の整備について

◎新川耕地新物流センターと江戸川台駅を結ぶ送迎バス計画に関しては、市内交通弱者対策も考慮した対応（ルート設定・高齢者移動支援事業など）を検討されたい。またバス停留所新設による駅前商店街の活性化策も検討されたい。

### 教育・文化の充実向上

◎子どもの教育レベルの格差是正に向け、ICT等の有効活用を図られたい→全国的な課題として取り上げられる子どもの貧困に伴う教育格差の問題。市内の学校現場でも当然のように課題となっています。



最新機材であるパソコンやタブレットの活用といった表面的な取り組みが目的ではなく、これらを有効に活用することで教育環境の格差解消に取り組む自治体が増えており、本市としても研究を進めていく必要性を感じています。

### 地域課題（活動の中で頂く声を届けました!）

普段の活動の中でいただく、生活道路や通学路の安全対策、公共施設の利便性向上や有効活用策などの提案やご要望事項を行政側に伝えました。行政の対応に期待したいと思います。

WebSite「森りょうじ」を検索!  
また Twitter・Facebook も更新中!

## 森が動く②

【伝える、広げる。】

日常活動の中では講演依頼を頂くことがあります。自分の政策や信条をお伝え出来る機会として、積極的にお受けさせて頂いています。自らの取り組みや考えを伝え、理解を広げるために10月は2カ所でお話しさせて頂きました。

### 動物愛護について（10/12）@市内

動物行政に関心のある方が集う会合でお話をさせて頂きました。副議長就任後の現在は議会で質問を出来ませんが、それ以前に市議会で取り組んできた殺処分ゼロ社会や災害時におけるペット同行避難訓練の導入に向けた取り組みの歩みを報告致しました。



当日は獣医師の方が参加されたこともあり、参加者の方々と『ペットとの共生社会のあるべき姿』を語り合う時間では、共生社会に向けた課題や展望などに関して積極的な意見交換がなされました。

### 国と地方の今後の展望（10/24）@都内

政府系機関・独立行政法人・民間企業の幹部の方々を対象に「国と地方の今後の展望」についてお話をさせて頂きました。

数カ月前より講演依頼を頂いておりましたが、タイミングとしては総選挙直後の講演となり、各政党が掲げた地方政策の評価や分析を中心とした内容にしました。今回の衆議院選挙における各政党のマニフェストには「地方自治」の分野に関する内容（道州制、地方分権、憲法改正における地方自治条項の強化、地方創生による地域活性化）が盛り込まれていました各。政党のスタンスや意気込みを感じるものでありましたが、一方で、従前より謳われている施策も多く、政策の実効性に疑問を感じる点もありました。その点を含め、受講生が考える「今後の地方の姿」について議論をしました。

【連絡先】 TEL & FAX: 7155-3236  
Mail: ryoji612@peach.ocn.ne.jp